

令和5年第6回定例教育委員会会議録

1 開催日	令和5年6月23日(金)	
2 開催場所	市役所本庁舎301会議室	
3 出席した委員	教 育 長 中 川 宣 芳 委 員 伊 藤 和 子 委 員 加 藤 由 美 委 員 野 中 亮 秀 委 員 古 田 重 紀	
4 欠席した委員	なし	
5 説明のため に出席した 職員	教 育 部 長 伊 藤 京 子 健康生きがい支え合い推進部長 江 口 幸 全 こども未来部長 川 尻 卓 哉 教 育 部 次 長 矢 本 博 士 健康生きがい支え合い推進部次長 落 合 健 一 こども未来部次長 伊 藤 加 代 子 教 育 総 務 課 長 兼 学 校 教 育 ICT 推 進 室 長 丸 藤 卓 也 学 校 給 食 課 長 林 泰 博 学 校 給 食 課 主 幹 小 川 敬 介 学 校 教 育 課 長 吉 田 隆 学 校 教 育 課 管 理 指 導 主 事 兼 主 幹 采 女 隆 一 学 校 教 育 課 指 導 主 事 兼 主 幹 鈴 木 久 代 学 校 教 育 課 指 導 主 事 兼 主 幹 兼 教 育 総 務 課 主 幹 長 谷 川 真 文 化 財 課 長 兼 小 牧 山 課 長 武 市 礼 子 図 書 館 長 岩 本 淳 文 化 ・ ス ポ ー ツ 課 長 藤 田 伸 也 味 岡 市 民 セ ン タ ー 所 長 加 藤 吉 宏 東 部 市 民 セ ン タ ー 所 長 松 浦 正 記 北 里 市 民 セ ン タ ー 所 長 平 手 明 仁 こ ども 政 策 課 長 小 川 喜 世 子 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 長 野 田 弘 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 指 導 保 育 士 鈴 木 貴 子 教 育 総 務 課 庶 務 係 長 遠 山 史 織	
6 本委員会書記	教 育 総 務 課 庶 務 係 主 査 山 田 晶 尚 教 育 総 務 課 庶 務 係 主 事 稲 垣 翔 太	
7 議題	議案第32号 令和5年度小牧市教職員研修の方針について 議案第33号 附属機関の委員の任命について 議案第34号 事務局職員の任免について	
8 報告及び連 絡事項	報告第1号 愛知県市町村教育委員会連合会令和6年度文教施策と予算 措置に関する要望事項の提出について 報告第2号 愛知県市町村教育委員会連合会第57回定期総会及び研修 会について 連 絡 事 項 7・8月行事予定 報告第3号 小牧市教員の多忙化解消推進委員会委員について 報告第4号 行政文書の開示について 報告第5号 小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について 報告第6号 小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について 報告第7号 令和5年度小牧市幼年期教育連携推進会議委員について	

<開会 午後 2時00分>

公開会議

○教育長（中川宣芳）

ただいまより令和5年第6回定例教育委員会を開催いたします。

本委員会に、お二人の傍聴の申出がありましたので、ご報告をさせていただきます。

それでは、5月23日開催の令和5年第5回定例教育委員会の会議録につきましては、お手元にお示しのとおり、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、会議録は承認とさせていただきます。

続いて、私から教育長報告をさせていただきます。

6月も残り1週間ほどとなり、各学校におきましては1学期のまとめの時期を迎えています。中学校におきましては、本日までに全ての学校で期末テストを終え、1学期の学びの成果をこのテストによって確認し、個々の現状での課題を見いだすところであります。

また、小学校におきましては、多くの学校で、先日の父の日前後で日頃の学校生活の様子を参観していただくための学校公開日が設けられておりました。そして、小学校では7月3日からの週に、中学校は7月24日からの週に、それぞれ個人懇談会が予定されており、保護者の皆様と担任が個々の児童生徒の1学期の成果やこれからの課題等を共有する機会を設ける予定となっております。

さらには、5月から始まった前期の学校訪問も順調に進められておりました。コロナ禍前の形で教職員全員による授業研究も実施され、今年度の各校教職員研修の研究テーマに基づいた協議も活発に行われているところであります。

また、市におきましては、6月の議会も来週最終日を迎えることになっております。本会議の一般質問では、児童生徒数の減少に伴う、よりよい教育環境整備についての質問を受けて、急激な減少傾向の実態、学校の適正規模・適正配置の策定等が喫緊の課題であることをお答えさせていただきました。

教育委員の皆様方にも過日、今後の児童生徒の減少推計について報告をさせていただいたところでありますが、引き続き様々な観点からご意見をいただきますようお願いを申し上げます。

私からの報告は以上であります。

次に、部長報告をお願いいたします。

伊藤教育部長。

○教育部長（伊藤京子）

私からは、1件の報告をさせていただきます。

市議会第2回定例会についてでございます。

6月2日から始まり、最終日は6月27日の予定でございます。本会議の一般質問が

15日から19日にあり、教育委員会が所管する内容に関しましては、4名の議員から質問がございました。一般質問発言通告内容につきましては、次回の会議の際に配付をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

今議会に提出いたしました教育委員会に関する5件の議案は、「市民会館・市公民館大規模改修工事請負契約の締結について」及び「さかき運動場多目的グラウンド新設工事請負契約の締結について」が21日に開催されました福祉厚生委員会、予算決算委員会福祉厚生分科会で、「給食用食器の取得について」、「立体式消毒保管機の取得について」及び「令和5年度小牧市一般会計補正予算（第4号）」が22日に開催されました文教建設委員会、予算決算委員会文教建設分科会で、それぞれ審査をされましたので、6月27日開催の本会議最終日で原案のとおり可決される見込みでございます。

なお、本日の議題のうち、議案第34号につきましては人事に関する案件でありますので、最後に非公開にて、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

私からの報告は以上であります。

○教育長（中川宣芳）

ただいまの部長報告でございますが、議案第34号は人事に関する案件でありますので、後ほど非公開にて審議することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、議案第34号は後ほど非公開にて審議いたします。

それでは議題に入ります。

初めに、議案第32号「令和5年度小牧市教職員研修の方針について」、事務局の説明を求めます。

矢本教育部次長。

○教育部次長（矢本博士）

それでは、ただいま議題となりました議案第32号につきまして、提案理由とその内容について、ご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、1ページをお願いいたします。

議案第32号「令和5年度小牧市教職員研修の方針について」であります。

この案の提出理由であります。令和5年度小牧市教職員研修の方針について定めるため、必要があるからであります。

その内容につきましては、2ページをお願いいたします。

令和5年度小牧市教職員研修の方針であります。

まず1の基本方針につきましては、子どもを取り巻く環境の変化や直面している教育課題への対応をはじめ、教育関係職員としての自覚を高めるとともに、個々が主体的に専門的技能と資質を高め、学校全体で協働・対話をしながら学校の教育力向上を目指した研修を行うといたしました。

2の本年度の重点につきましては5項目掲げておりますが、本年度は特に、校内研修の充実と、日々の業務の中で資質・能力を高めていくOJTを推進してまいります。

また、研修受講後には学びの成果を研修履歴として管理するなど、研修での学びを学校現場へ普及・還元していきます。そうすることで教員個人の学びが組織全体としての学びになり、学校の教育力が向上し、子どもたちの学びの充実につながると考えております。

3の研修の観点につきましては、愛知県教員育成指標の観点「令和の日本型学校教育」における教師に求められる資質能力の観点を踏まえ、記載のとおり5つの観点を掲げております。

4の研修の内容につきましては、3の研修の観点到掲げた(1)から(5)の5つの観点ごとの研修内容を具体的に記載しております。本年度も学校ごとに「校内現職教育委員会」を組織して取り組む校内研修や、教員のニーズに応じた様々な研修をさらに充実させることで、教職員の力量向上に努めてまいりたいと考えております。今年度も最大限の感染対策をして研修を実施する予定でございます。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第32号について、ご質問等がありましたら、お受けいたします。

いかがでしょうか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

教職員研修の方針で、4の研修の内容の(2)につながることにについて、お話をさせていただくのですが、「主体的・対話的で深い学び」ということで、これは児童生徒主体の学びに変換していくという、数年前から取り組まれていることだと思っております。その中で「個別最適な学び」や「協働的な学び」、そして今、それをより具体的に進めていくためにICT機器を使った学び方も出てきていると思います。

その中で、学校の授業の様子を見させていただくと、やはりICT機器の使い方だったり、その学びの進め方だったり、学校によってかなり差があるように感じたのです。まだまだ単線型というのか、一方的に教員から子どもへという授業の形態である気がしていて、それを複線型に変えていくために、こういった研修をされていくのだと思うのです。複線型で学び合う学び、そして子ども一人ひとりを主役にとということも言われていると思いますので、その辺りをどのように、この研修によって幅広くいろいろな先生方に浸透させていくのか、何か具体的なお考えがあれば教えていただきたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

鈴木学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（鈴木久代）

個別最適な学びと協働的な学び、小牧市が進めていく学び合う学びについて、どのように効果的に進めていくかというご質問です。

年間を通しての研修としましては、校内研修を主としております。校内で研究テーマを定めて子どもたちの学び、子どもが主役になる授業づくりについて、日々、日常的に研修を進めております。

今年度におきましては、教育講演会を夏季研修で実施する予定にしております。テーマを「学び合う学び、小牧の教育を考える」とし、講師に京都大学の石井先生をお招きします。石井先生の講演、そして石井先生と教育長との対談を聞いて小牧の学び合う学び、これからの小牧の教育を小牧市の教職員全員で考えていきたいと考えております。また、そこで得られた学びを2学期以降、子どもたちに寄り沿った授業づくりや個に応じた学びに、活かしていけるよう、それぞれ学校で研修を深めていただきたいと考えております。

○委員（加藤由美）

ありがとうございます。すごく難しく、大変なところだとは思うのですがけれども、やはり本当に子どもたちが自ら学びたい、それが知りたいから今この勉強をしているんだという気持ちになれるように、そういう気持ちを感じる子どももたくさんいますけれども、そこまで到達できていないかなと思う子どももいらっしゃるのではないかと思いますので、大変だと思いますけれども、ぜひ力を入れて取り組んでいただければと思います。お願いします。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（加藤由美）

ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

古田委員。

○委員（古田重紀）

今、学校での研修を充実させていこうという話があったので要望なのですが、私は昨年、小学校の授業の様子を見せていただいたのですがけれども、年代的に若い先生がすごく多い印象を持ちました。若い先生たちは、いろいろ戸惑いもあると思うのです。授業の進め方も中身が濃いので、ノルマをこなすのに一生懸命という部分が非常に強いと思っています。やはり学校の中で特に先輩の先生方が後輩の先生方を温かい目で見あげて、個別個別にいろいろ特徴があると思うので、その特徴に合わせた指導をしてあげられるように、ぜひ教育委員会としてバックアップをしてあげてほしいと要望します。

○教育長（中川宣芳）

鈴木学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（鈴木久代）

ご意見ありがとうございます。

まさしくそのとおりでございます。学校にも、授業づくりは1人で進めるのではなく、同僚と一緒に進めるようお願いしております。本年度の研修の重点にもOJTを掲げさせていただきました。日々の業務の中で、個々の課題をみんなで解決していく、同僚だったり管理職だったり、先輩の先生のアドバイスをいただきながら力量を向上していくところに重点を置いております。一緒に授業づくりをする中で、若手だけではなくベテランの先生にもまた新たな学びが生まれると思いますので、学校全体で授業づくりを進めていただくようお願いしているところでございます。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（古田重紀）

はい。

○教育長（中川宣芳）

ほかにごございますか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

現場にはご苦労が多くて、学校訪問に参加させていただいて拝見していると、こういうところで大変なのだろうとか、お子さんたちを拝見しても、集中している子はとても集中しているのですけれど、そうではない子を拝見すると、どうしたらこの子たちの目を教員の話のほうに向かわせることができるのだろうかとかと度々感じているところです。

夏季研修で京都大学の先生をお呼びになって実施でされるということですが、専門で知識豊富な方の話を聞くことはとてもいいことだと思うのですね。ぜひ1年に1回、2回とされたほうがいいと思うのですけれども、聞いたら聞きっ放しになってしまっ、終わってしまうと思うのです。それが実際にどう結びついていくかということまで詰めていかないと、実施する意味がない。せっかくお呼びして、ありがたいお話をいただけるのであれば、それを自分の学校や自分のクラスにどう落とし込んでいくかを考えるところまでできると、研修として意義があると思います。

それを考えると、例えば夏季研修のときには難しかったけれども、そこで提起されたテーマに沿ってグループワークをされるとか、何かその先を見つけてセッティングして差し上げないと、さっきもおっしゃったようにベテランの方も若手の方もみんなで取り組んでいかなければいけないことなので、意外とグループで話し合うと、そんな考えがあったのか、他者の考えの違いとか、またあるいは同感、同調する、そういったものも取り込めるかもしれないので、やりっ放しで終わらないようにしてほしいと思います。子どもたちにも再三言っていますよね、そこで終わりじゃないのよ、その先もあるのよということは、

私たち大人も示していかなければいけないので、そこをを考えていただけるとありがたいなと思って、教職員研修の方針を見させていただきました。

先ほど、加藤委員も学校差があるようだとおっしゃっていたのですが、私は学校差ももちろんあるでしょうけれど、学年差とか学級差が本当に気になっていたのも、やっぱりお子様の目から見て公平であるべき、どの先生に教えていただいても、このレベルはキープされるというところは、きっちりやっていただかないといけないのではないかなと思っていますので、よろしく願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

鈴木学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（鈴木久代）

ご意見ありがとうございます。

「研究」と「修養」という大切なキーワードを話の中から伺ったと思っております。研修を進めるに当たり、昨年度まで1人で学びの振り返りをしてきた部分を、今年度変更し、研修の中で得た学びを再構築して、それを現場にどのように還元していくかを考える時間を取ってほしいということを研修担当者にはお願いしております。

先ほどの教育講演会につきましても、石井先生の講演の後に、石井先生と教育長の対談があり、それを聞いて自分が持った問い、これからの課題についてそれぞれのグループで話し合い、これからの教育に活かしていきます。

本年度は一堂に会するのではなく、メイン会場には各校から2名が参加し、他校との情報交換、意見交流をします。それ以外の教職員につきましても、それぞれ勤務されている学校で、オンラインで参加していただくという形の研修を考えています。聞いて終わりにならないように、そこでの学びを次にどう活かしていくか、同僚と協働してどう高めていくかというところまでを目標に研修を行いたいと思います。個々の授業力の差については校内研修でしっかり取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

○委員（伊藤和子）

お願いします。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

はい、ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

（発言なし）

それでは、議案第32号「令和5年度小牧市教職員研修の方針について」は、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議がないようですので、議案第32号については原案どおり可決することといたします。

次に、議案第33号「附属機関の委員の任命について」、事務局の説明を求めます。

矢本教育部次長。

○教育部次長（矢本博士）

それでは、ただいま議題となりました議案第33号につきまして、提案理由とその内容について、ご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、4ページをお願いいたします。

議案第33号「附属機関の委員の任命について」であります。

この案の提出理由であります。附属機関の委員の任命をするため、必要があるからであり、その委員は、小牧市文化財保護審議会委員であります。内容につきましては、名簿でご説明をさせていただきますので、5ページをお願いいたします。

委員は、文化財に関し、学識経験を有する者から任命することとなっており、委員9名のうち今回はこの名簿中最上段、太字で記載をしております池田洋子氏を再任しようとするものであります。

任期は、令和5年7月12日から令和7年7月11日の2年間であります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第33号について、ご質問等がありましたら、お受けいたします。

いかがでしょうか。

よろしいですか。

(発言なし)

それでは、議案第33号「附属機関の委員の任命について」は、原案どおり可決することと、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議がないようですので、議案第33号については、原案どおり可決することといたします。

続いて、報告・連絡事項に入ります。

初めに教育総務課、お願いいたします。

丸藤教育総務課長。

○教育総務課長兼学校教育ICT推進室長（丸藤卓也）

それでは、報告第1号「愛知県市町村教育委員会連合会令和6年度文教施策と予算措置に関する要望事項の提出について」でございます。

6 ページをお願いいたします。

愛知県市町村教育委員会連合会では、毎年度、愛知県教育委員会に対し、「文教施策と予算措置に関する要望書」を提出し、要望活動を行っております。

令和6年度の要望書提出に向けまして、同連合会長より各市の教育委員会へ要望提出の依頼がございました。7ページになりますけれども、小牧市教育委員会として、1点目に、「医療的ケア児の就学支援体制の充実といたしまして、看護師の県による配置及び配置に係る国の補助金の拡充」を、そして2点目に、「部活動の円滑な地域移行への支援といたしまして、自治体間格差の解消及び保護者負担軽減を図る補助制度の創設について」を、表に記載のとおり要望事項として提出させていただきましたので、ご報告させていただきます。

各市より提出されました要望書は、連合会事務局で取りまとめを行いまして、連合会理事事に図られ、その後、愛知県教育委員会に提出されることとなりますので、ご承知おきをお願いいたします。

次に、報告第2号「愛知県市町村教育委員会連合会第57回定期総会及び研修会について」でございます。

8 ページをお願いいたします。

愛知県市町村教育委員会連合会の第57回定期総会及び研修会の開催について、同連合会長より通知がございました。令和5年7月5日水曜日午後1時半から、刈谷市総合文化センターで開催されます。教育長及び委員の皆様のご出席については、あらかじめお伺いしており、その旨、事務局に報告させていただいております。

総会では、令和4年度の事業報告と決算報告、令和5年度の事業計画、予算、役員などの承認が議題となっております。

研修会では、株式会社宮崎中央新聞社代表で日本講演新聞編集長の水谷もりひと氏による講演が予定されております。

続きまして、連絡事項、7月・8月の行事予定でございます。

11 ページをお願いいたします。

まず、7月の予定でございます。

4日の火曜日は、尾張部都市教育長会議がすいとぴあ江南で開催されます。5日水曜日は、愛知県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会が刈谷市総合文化センターで開催されます。6日木曜日は、愛日地方教育事務協議会が尾張旭市役所で開催されます。13日木曜日は、全国都市教育長協議会理事会が東京で開催されます。14日金曜日でございますが、午後2時から定例の教育委員会を301会議室で開催いたします。

12 ページをお願いいたします。

20日木曜日は、小中学校、第一幼稚園の終業式でございます。26日水曜日は、愛知県市町村教育委員会連合会理事会が刈谷市総合文化センターで開催されます。28日金曜

日は、市町村教育委員会研究協議会がTKPガーデンシティPREMIUM名駅西口で開催されます。

続いて、8月の予定でございます。

13ページをお願いいたします。

4日から7日にかけて小牧市・八雲町児童学習交流事業として、4年ぶりに児童24名を八雲町に派遣いたします。

14ページをお願いいたします。

16日水曜日でございますが、午前10時から定例の教育委員会を601会議室で開催いたします。それから25日金曜日は、本会議の招集日となっております。

7月、8月の行事予定は以上でございます。以上で報告・連絡事項とさせていただきます。

○教育長（中川宣芳）

次に、学校教育課、お願いします。

吉田学校教育課長。

○学校教育課長（吉田隆）

報告第3号でございます。

15ページをお願いいたします。

報告第3号「小牧市教員の多忙化解消推進委員会委員について」でございます。

任期は、令和5年7月4日から令和6年3月31日まででございます。

令和元年に策定いたしました教員の長時間労働を解消するための多忙化解消プランの進捗管理及び具体的な取組について検討を行ってまいります。委員につきましては、学識経験者として、名古屋経済大学の前原宏一先生をはじめ、地域住民の代表、保護者の代表、地域コーディネーターの代表、校長・教員の代表11名に委嘱をするものでございます。

なお、太字の委員は今年度新たに委員となる方でございます。以上でございます。

○教育長（中川宣芳）

続いて、図書館、お願いします。

岩本図書館長。

○図書館長（岩本淳）

報告第4号「行政文書の開示について」、報告をさせていただきます。

資料はございません。

令和5年5月2日付けで市内在住の方より、令和4年度小牧市中央図書館のカフェスペースの行政財産目的外使用料、加算賃料に係る算定根拠資料について開示請求がありました。この開示請求に対しては全部開示の決定を行い、5月15日付けで請求者の方に通知をいたしました。

以上で報告とさせていただきます。

○教育長（中川宣芳）

続いて、文化・スポーツ課、お願いします。

藤田文化・スポーツ課長。

○文化・スポーツ課長（藤田伸也）

それでは、文化・スポーツ課より2件ご報告をさせていただきます。

16ページをお願いいたします。

報告第5号で、特定非営利活動法人えんより、令和時代のお金の教室について、後援名義使用の申請があったものであります。

その内容は、子育て世代に対し、税金、社会保険制度、投資、ローンなどのお金の知識を初歩から学ぶことができるもので、催事の内容を総合的に勘案した結果、後援名義の使用を許可したものであります。

続きまして、20ページをお願いいたします。

報告第6号で、和太鼓音魂より、和太鼓音魂コンサート2023について、後援名義使用の申請があったものであります。

その内容は、和太鼓等の演奏会を通じて和太鼓文化の発展を目的に行うものであり、催事の内容を総合的に勘案した結果、後援名義の使用を許可したものであります。以上でございます。

○教育長（中川宣芳）

最後に、幼児教育・保育課、お願いします。

野田幼児教育・保育課長。

○幼児教育・保育課長（野田弘）

幼児教育・保育課から1件ご報告をさせていただきます。

資料の22ページをお願いいたします。

報告第7号「令和5年度小牧市幼年期教育連携推進会議委員について」であります。

任期は、令和5年6月27日から令和6年3月31日までで、幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園、小学校及び市が幼年期教育に視点を置いた連携をし、子どもが健やかに育つための環境づくりを進めるために検討、協議を行ってまいります。

委員につきましては、相山女学園大学教授の伊藤博美氏をはじめ、11名に委嘱または任命をするものであります。

なお、太字の委員は今年度新たに委員となる方であります。報告は以上です。

○教育長（中川宣芳）

報告・連絡事項は以上であります。何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

よろしいですか。

（発言なし）

それでは、ここで公開による会議を終了いたします。

関係者以外は退室してください。

—関係者以外退室—

○教育長（中川宣芳）

これより非公開の会議を開会します。

<開会 午後 2時32分>

非公開会議

<閉会 午後 2時35分>

○教育長（中川宣芳）

ほかにご発言はありますか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

ほかにご発言もないようですので、令和5年第6回定例教育委員会をこれにて閉会いたします。お疲れさまでした。

<閉会 午後 2時36分>

署 名 欄

教育長

委員

委員

委員

委員

作成職員